

平成 28 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	精神医療センター太宰府病院	2
北九州市	門司病院	3
北九州市	医療センター	4
北九州市	八幡病院	5
福岡市	福岡市立こども病院	6
福岡市	福岡市民病院	7
大牟田市	総合病院	8
飯塚市	飯塚市立病院	9
田川市	市立病院	10
筑後市	市立病院	11
中間市	市立病院	12
芦屋町	芦屋中央病院	13
小竹町	小竹町立病院	14
鞍手町	町立病院	15
糸田町	緑ヶ丘病院	16
川崎町	町立病院	17
公立八女総合病院企業団	公立八女総合病院	18
公立八女総合病院企業団	みどりの杜病院	19

病院事業決算状況 (28年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	
				病院名	精神医療センター太宰府病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,831 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	84.8	84.9	85.2
感染症	-	-	-	-
計	300	84.8	84.9	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,101,556	
決算規模(千円)	1,657,790,473	
標準財政規模(千円)	983,174,820	
財政力指数	0.63402	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	243.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.8
修正医業収支金額(千円)	2,157,231

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,734,635			
1 経常収益	2,618,881			
(1) 医業収益	2,158,396			
入院収益	1,820,833			
外来収益	316,448			
診療収入計	2,137,281			
その他医業収益	21,115			
(うち他会計負担金)	1,165			
(2) 医業外収益	460,485			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	344,403			
(うち長期前受金戻入)	114,951			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	115,754			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,457,664			
2 経常費用	2,457,116			
(1) 医業費用	2,350,784			
職員給与費	12,123	0.6	56.1	93.3
材料費	-	-	23.9	9.0
(うち薬品費)	-	-	12.5	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	1.1
減価償却費	192,076	8.9	9.3	12.8
経費	2,145,650	99.4	23.1	32.7
(うち委託料)	19,426	0.9	11.1	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	935			
(2) 医業外費用	106,332			
(うち支払利息)	101,059	4.7	1.8	3.6
(3) 特別損失	548			
損益				
経常損益	161,765			
純損益	276,971			
累積欠損金	2,224,519			
経常収支比率	106.6		97.9	100.2
医業収支比率	91.8		88.4	67.3
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.3	33.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		14.4	51.8
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.4	33.1
実質収益対経常費用比率	92.5		85.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,856,573
1 固定資産	3,687,438
(1) 有形固定資産	3,686,593
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,169,135
(1) 現金及び預金	666,396
(2) 未収金及び未収収益	544,591
(3) 貸倒引当金()	42,852
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,965,556
1 固定負債	4,379,965
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,357,150
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	22,815
(7) リース債務	-
2 流動負債	338,322
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	331,515
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,383
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,214
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	247,269
(1) 長期前受金	1,373,096
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,125,827
資本合計	-108,983
1 資本金	1,198,746
2 剰余金	-1,307,729
(1) 資本剰余金	916,790
(2) 利益剰余金	-2,224,519
負債・資本合計	4,856,573
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	108,983
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	345,568	345,568
資本勘定繰入	216,537	216,537
計	562,105	562,105

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	門司病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,196 m ²	指定病院の状況	
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	50	87.2	87.6	91.7
療養	50	90.9	89.2	91.0
結核	55	46.3	53.2	40.1
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	73.9	75.9	73.2
平均在院日数(一般病床のみ)		24.8	24.1	24.4

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	515,520,175	
標準財政規模(千円)	245,993,030	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	276,069			
1 経常収益	276,069			
(1) 医業収益	2,300			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	2,300			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	273,769			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	229,650			
(うち長期前受金戻入)	3,416			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	441,210			
2 経常費用	441,210			
(1) 医業費用	366,725			
職員給与費	-	-	56.1	60.1
材料費	-	-	23.9	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	8.1
減価償却費	186,970	8129.1	9.3	10.1
経費	179,108	7787.3	23.1	30.4
(うち委託料)	680	29.6	11.1	12.5
研究研修費	-			
資産減耗費	647			
(2) 医業外費用	74,485			
(うち支払利息)	59,475	2585.9	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-165,141			
純損益	-165,141			
累積欠損金	16,103,298			
経常収支比率	62.6		97.9	96.4
医業収支比率	0.6		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	83.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9984.8		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	83.2		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	10.5		85.8	81.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,112,474
1 固定資産	13,480,833
(1) 有形固定資産	13,475,027
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	1,290
2 流動資産	6,631,641
(1) 現金及び預金	368,605
(2) 未収金及び未収収益	3,702,958
(3) 貸倒引当金()	26,492
(4) 貯蔵品	84,897
3 繰延資産	-
負債合計	21,128,722
1 固定負債	14,734,593
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,605,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	929,272
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,056,033
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,017,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	742,674
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,263,353
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	338,096
(1) 長期前受金	896,075
(2) 長期前受金収益化累計額()	557,979
資本合計	-1,016,248
1 資本金	34,264,680
2 剰余金	-35,280,928
(1) 資本剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-35,434,520
負債・資本合計	20,112,474
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,016,248
資本不足額(繰延収益控除後)()	678,152
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.6
修正医業収支金額(千円)	2,300

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	229,650	229,650
資本勘定繰入	93,295	93,295
計	322,945	322,945

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	159.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	医療センター

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,416 m ²	指定病院の状況	臨が感災地輪
診療科数	25	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	620	72.0	71.7	74.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	16	-	-	-
計	636	70.2	69.9	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	14.6	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	515,520,175	
標準財政規模(千円)	245,993,030	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.1
修正医業収支金額(千円)	15,026,505

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,055,859			
1 経常収益	16,049,329			
(1) 医業収益	15,026,505			
入院収益	9,750,488			
外来収益	4,957,545			
診療収入計	14,708,033			
その他医業収益	318,472			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,022,824			
(うち国・都道府県補助金)	32,020			
(うち他会計補助・負担金)	810,698			
(うち長期前受金戻入)	10,168			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,530			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,956,955			
2 経常費用	16,730,020			
(1) 医業費用	15,802,603			
職員給与費	7,595,783	50.5	56.1	50.8
材料費	4,545,121	30.2	23.9	27.3
(うち薬品費)	3,030,261	20.2	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,509,561	10.0	10.9	12.6
減価償却費	856,681	5.7	9.3	8.6
経費	2,723,533	18.1	23.1	20.7
(うち委託料)	1,105,392	7.4	11.1	11.4
研究研修費	64,812			
資産減耗費	16,673			
(2) 医業外費用	927,417			
(うち支払利息)	121,578	0.8	1.8	1.6
(3) 特別損失	226,935			
損益				
経常損益	-680,691			
純損益	-901,096			
累積欠損金	13,136,885			
経常収支比率	95.9		97.9	99.3
医業収支比率	95.1		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	91.1		85.8	90.0

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,112,474
1 固定資産	13,480,833
(1) 有形固定資産	13,475,027
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	1,290
2 流動資産	6,631,641
(1) 現金及び預金	368,605
(2) 未収金及び未収収益	3,702,958
(3) 貸倒引当金()	26,492
(4) 貯蔵品	84,897
3 繰延資産	-
負債合計	21,128,722
1 固定負債	14,734,593
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,605,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	929,272
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,056,033
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,017,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	742,674
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,263,353
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	338,096
(1) 長期前受金	896,075
(2) 長期前受金収益化累計額()	557,979
資本合計	-1,016,248
1 資本金	34,264,680
2 剰余金	-35,280,928
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-35,434,520
負債・資本合計	20,112,474
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,016,248
資本不足額(繰延収益控除後)()	678,152

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	810,698	810,698
資本勘定繰入	696,831	696,831
計	1,507,529	1,507,529

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	159.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	北九州市
				病院名	八幡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,503 m ²	指定病院の状況	救臨 災		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	439	54.2	54.2	58.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	439	54.2	54.2	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.6	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	515,520,175	
標準財政規模(千円)	245,993,030	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収支金額(千円)	5,774,276

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,393,227			
1 経常収益	7,390,053			
(1) 医業収益	7,192,984			
入院収益	4,431,070			
外来収益	1,232,517			
診療収入計	5,663,587			
その他医業収益	1,529,397			
(うち他会計負担金)	1,418,708			
(2) 医業外収益	197,069			
(うち国・都道府県補助金)	1,488			
(うち他会計補助・負担金)	139,819			
(うち長期前受金戻入)	1,966			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,174			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,565,553			
2 経常費用	7,501,431			
(1) 医業費用	7,269,943			
職員給与費	4,347,606	60.4	56.1	55.3
材料費	847,401	11.8	23.9	25.4
(うち薬品費)	314,655	4.4	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	530,904	7.4	10.9	12.0
減価償却費	389,322	5.4	9.3	8.9
経費	1,652,031	23.0	23.1	19.4
(うち委託料)	682,423	9.5	11.1	9.2
研究研修費	28,410			
資産減耗費	5,173			
(2) 医業外費用	231,488			
(うち支払利息)	21,687	0.3	1.8	1.7
(3) 特別損失	64,122			
損益				
経常損益	-111,378			
純損益	-172,326			
累積欠損金	6,194,337			
経常収支比率	98.5		97.9	98.4
医業収支比率	98.9		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.7		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	77.7		85.8	88.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,112,474
1 固定資産	13,480,833
(1) 有形固定資産	13,475,027
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	1,290
2 流動資産	6,631,641
(1) 現金及び預金	368,605
(2) 未収金及び未収収益	3,702,958
(3) 貸倒引当金()	26,492
(4) 貯蔵品	84,897
3 繰延資産	-
負債合計	21,128,722
1 固定負債	14,734,593
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,605,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	929,272
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,056,033
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,017,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	742,674
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,263,353
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	338,096
(1) 長期前受金	896,075
(2) 長期前受金収益化累計額()	557,979
資本合計	-1,016,248
1 資本金	34,264,680
2 剰余金	-35,280,928
(1) 資本剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-35,434,520
負債・資本合計	20,112,474
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,016,248
資本不足額(繰延収益控除後)()	678,152
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,558,527	1,558,527
資本勘定繰入	215,759	215,759
計	1,774,286	1,774,286

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	159.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	福岡市
		病院名	福岡市立こども病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	793,768,959	
標準財政規模(千円)	360,350,301	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	152.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	80,620			
1 経常収益	80,620			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	80,620			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	80,620			
2 経常費用	80,620			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	80,620			
(うち支払利息)	80,620	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	福岡市
	病院名	福岡市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	793,768,959	
標準財政規模(千円)	360,350,301	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	152.7

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	49,292			
1 経常収益	49,292			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	49,292			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	49,292			
2 経常費用	49,292			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	49,292			
(うち支払利息)	49,292	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	大牟田市
	病院名	総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	117,360	
決算規模(千円)	56,311,461	
標準財政規模(千円)	28,160,300	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	73.7

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	201,133			
1 経常収益	201,133			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	201,133			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	201,133			
2 経常費用	201,133			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	56.5
材料費	-	-	23.9	24.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	11.4
減価償却費	-	-	9.3	9.1
経費	-	-	23.1	21.6
(うち委託料)	-	-	11.1	10.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	201,133			
(うち支払利息)	201,133	-	1.8	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	96.7
医業収支比率	-		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	86.1

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	飯塚市
	病院名	飯塚市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,341 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	250	76.4	76.8	63.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	76.4	76.8	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	20.9	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	129,146	
決算規模(千円)	71,254,940	
標準財政規模(千円)	33,175,972	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	15.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	444,182			
1 経常収益	394,525			
(1) 医業収益	214,241			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	214,241			
(うち他会計負担金)	214,241			
(2) 医業外収益	180,284			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	6,643			
(うち長期前受金戻入)	128,819			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,657			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	595,594			
2 経常費用	595,594			
(1) 医業費用	544,439			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	238,716	111.4	9.3	9.9
経費	214,241	100.0	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	91,482			
(2) 医業外費用	51,155			
(うち支払利息)	29,850	13.9	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-201,069			
純損益	-151,412			
累積欠損金	359,784			
経常収支比率	66.2		97.9	95.3
医業収支比率	39.4		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	56.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	103.1		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	49.7		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	29.2		85.8	82.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,802,642
1 固定資産	4,739,165
(1) 有形固定資産	4,738,915
(2) 無形固定資産	250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	63,477
(1) 現金及び預金	63,477
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,678,225
1 固定負債	3,473,590
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,473,590
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	190,791
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	131,656
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,135
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,844
(1) 長期前受金	315,332
(2) 長期前受金収益化累計額()	301,488
資本合計	1,124,417
1 資本金	1,336,340
2 剰余金	-211,923
(1) 資本金剰余金	147,861
(2) 利益剰余金	-359,784
負債・資本合計	4,802,642
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	220,884	220,884
資本勘定繰入	142,146	142,146
計	363,030	363,030

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	167.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	田川市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,810 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	334	64.3	60.1	59.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	-	-	-
計	342	62.8	58.7	57.7
平均在院日数（一般病床のみ）		13.6	12.1	12.3

設立団体の状況		
人口（人）	48,441	
決算規模（千円）	29,082,085	
標準財政規模（千円）	12,923,951	
財政力指数	0.42	
経常収支比率（%）	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.3
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	94.5
修正医業収支金額（千円）	5,288,939

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,343,197			
1 経常収益	6,096,159			
(1) 医業収益	5,407,275			
入院収益	3,656,992			
外来収益	1,487,688			
診療収入計	5,144,680			
その他医業収益	262,595			
(うち他会計負担金)	118,336			
(2) 医業外収益	688,884			
(うち国・都道府県補助金)	10,369			
(うち他会計補助・負担金)	445,987			
(うち長期前受金戻入)	211,686			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	247,038			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,885,198			
2 経常費用	5,878,606			
(1) 医業費用	5,595,427			
職員給与費	2,884,466	53.3	56.1	56.5
材料費	1,071,217	19.8	23.9	24.1
(うち薬品費)	353,847	6.5	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	717,370	13.3	10.9	11.4
減価償却費	337,136	6.2	9.3	9.1
経費	1,269,100	23.5	23.1	21.6
(うち委託料)	715,257	13.2	11.1	10.6
研究研修費	22,983			
資産減耗費	10,525			
(2) 医業外費用	283,179			
(うち支払利息)	108,950	2.0	1.8	2.0
(3) 特別損失	6,592			
損益				
経常損益	217,553			
純損益	457,999			
累積欠損金	1,358,410			
経常収支比率	103.7		97.9	96.7
医業収支比率	96.6		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	94.1		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	7,275,159
1 固定資産	5,655,072
(1) 有形固定資産	5,655,072
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,620,087
(1) 現金及び預金	893,823
(2) 未収金及び未収収益	725,347
(3) 貸倒引当金（ ）	28,238
(4) 貯蔵品	28,085
3 繰延資産	-
負債合計	8,367,201
1 固定負債	6,997,957
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,046,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	951,772
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,290,321
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,134
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	175,672
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	435,246
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	78,923
(1) 長期前受金	6,101,465
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	6,022,542
資本合計	-1,092,042
1 資本金	248,911
2 剰余金	-1,340,953
(1) 資本剰余金	17,457
(2) 利益剰余金	-1,358,410
負債・資本合計	7,275,159
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	1,092,042
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,013,119
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	564,323	564,323
資本勘定繰入	401,354	401,354
計	965,677	965,677

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	25.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	筑後市
		病院名	市立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	48,339	
決算規模(千円)	18,796,326	
標準財政規模(千円)	10,341,969	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	44.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	64,953			
1 経常収益	64,953			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	64,953			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	64,953			
2 経常費用	64,953			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	64,953			
(うち支払利息)	64,953	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	中間市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,302 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	122	51.3	52.4	52.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	51.3	52.4	52.8
平均在院日数（一般病床のみ）		22.4	19.4	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	41,796	
決算規模(千円)	17,772,603	
標準財政規模(千円)	9,587,674	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	74.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.4
修正医業収支金額(千円)	1,774,104

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,002,184			
1 経常収益	1,995,601			
(1) 医業収益	1,823,090			
入院収益	703,783			
外来収益	1,014,377			
診療収入計	1,718,160			
その他医業収益	104,930			
(うち他会計負担金)	48,986			
(2) 医業外収益	172,511			
(うち国・都道府県補助金)	12,546			
(うち他会計補助・負担金)	96,572			
(うち長期前受金戻入)	56,225			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,583			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,993,131			
2 経常費用	1,976,630			
(1) 医業費用	1,899,998			
職員給与費	1,012,654	55.5	56.1	60.1
材料費	536,737	29.4	23.9	18.1
(うち薬品費)	462,881	25.4	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,863	3.1	10.9	8.1
減価償却費	78,251	4.3	9.3	10.1
経費	267,089	14.7	23.1	30.4
(うち委託料)	116,396	6.4	11.1	12.5
研究研修費	4,009			
資産減耗費	1,258			
(2) 医業外費用	76,632			
(うち支払利息)	14,814	0.8	1.8	1.9
(3) 特別損失	16,501			
損益				
経常損益	18,971			
純損益	9,053			
累積欠損金	284,130			
経常収支比率	101.0		97.9	96.4
医業収支比率	96.0		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	93.6		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	952,446
1 固定資産	617,678
(1) 有形固定資産	616,987
(2) 無形固定資産	691
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	334,768
(1) 現金及び預金	1,871
(2) 未収金及び未収収益	320,985
(3) 貸倒引当金()	1,427
(4) 貯蔵品	12,739
3 繰延資産	-
負債合計	1,057,694
1 固定負債	485,930
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	461,273
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	24,657
(7) リース債務	-
2 流動負債	365,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	75,628
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,412
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	77,624
(8) 未払金及び未払費用	150,162
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	206,067
(1) 長期前受金	1,625,128
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,419,061
資本合計	-105,248
1 資本金	94,571
2 剰余金	-199,819
(1) 資本金剰余金	82,811
(2) 利益剰余金	-282,630
負債・資本合計	952,446
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	105,248
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,558	145,558
資本勘定繰入	50,440	50,440
計	195,998	195,998

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	芦屋町
		病院名	芦屋中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	78.6
療養	-	-	-	76.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	14,208	
決算規模(千円)	8,441,538	
標準財政規模(千円)	3,660,084	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,028			
1 経常収益	5,028			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,028			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,028			
2 経常費用	5,028			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	60.1
材料費	-	-	23.9	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	8.1
減価償却費	-	-	9.3	10.1
経費	-	-	23.1	30.4
(うち委託料)	-	-	11.1	12.5
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	5,028			
(うち支払利息)	5,028	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	96.4
医業収支比率	-		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	小竹町
	病院名	小竹町立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,759 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	15:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	56	61.5	58.5	64.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	61.5	58.5	64.8
平均在院日数(一般病床のみ)		35.7	58.5	52.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,810	
決算規模(千円)	4,439,893	
標準財政規模(千円)	2,724,422	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	74.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.0
修正医業収支金額(千円)	401,057

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	523,023			
1 経常収益	522,727			
(1) 医業収益	460,472			
入院収益	257,390			
外来収益	130,053			
診療収入計	387,443			
その他医業収益	73,029			
(うち他会計負担金)	59,415			
(2) 医業外収益	62,255			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	42,041			
(うち長期前受金戻入)	13,689			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	296			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	587,303			
2 経常費用	560,601			
(1) 医業費用	549,298			
職員給与費	409,496	88.9	56.1	68.5
材料費	50,004	10.9	23.9	17.7
(うち薬品費)	14,653	3.2	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,831	5.8	10.9	5.7
減価償却費	22,124	4.8	9.3	12.1
経費	64,959	14.1	23.1	32.0
(うち委託料)	27,509	6.0	11.1	12.2
研究研修費	2,165			
資産減耗費	550			
(2) 医業外費用	11,303			
(うち支払利息)	1,226	0.3	1.8	2.3
(3) 特別損失	26,702			
損益				
経常損益	-37,874			
純損益	-64,280			
累積欠損金	197,922			
経常収支比率	93.2		97.9	98.1
医業収支比率	83.8		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	22.0		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	19.4		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	75.1		85.8	75.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	492,585
1 固定資産	317,925
(1) 有形固定資産	317,773
(2) 無形固定資産	152
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	174,660
(1) 現金及び預金	103,806
(2) 未収金及び未収収益	69,341
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,203
3 繰延資産	-
負債合計	633,961
1 固定負債	140,342
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,680
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	131,662
(7) リース債務	-
2 流動負債	335,080
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,582
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,665
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	22,786
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	158,539
(1) 長期前受金	278,027
(2) 長期前受金収益化累計額()	119,488
資本合計	-141,376
1 資本金	53,632
2 剰余金	-195,008
(1) 資本金剰余金	2,914
(2) 利益剰余金	-197,922
負債・資本合計	492,585
不良債務	157,838
実質資金不足額	157,838
資金不足額()	141,376
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	110,200	101,456
資本勘定繰入	5,494	10,933
計	115,694	112,389

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	157,838	34.3
27年度	115,033	25.0
26年度	75,633	14.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.0
健全化法上の資金不足額(千円)	148,173
健全化法上の資金不足比率(%)	32.1
地財法上の資金不足額(千円)	148,173
地財法上の資金不足比率(%)	32.1

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	鞍手町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,007	
決算規模(千円)	6,922,137	
標準財政規模(千円)	4,436,600	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,713			
1 経常収益	12,713			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,713			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,713			
2 経常費用	12,713			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	12,713			
(うち支払利息)	12,713	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	糸田町
				病院名	緑ヶ丘病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,798 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	6	看護配置	15:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	54	68.3	76.2	79.0
療養	45	67.3	69.3	65.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	67.9	73.0	72.6
平均在院日数（一般病床のみ）		27.9	34.4	38.2

設立団体の状況		
人口（人）	9,020	
決算規模（千円）	5,622,314	
標準財政規模（千円）	2,696,253	
財政力指数	0.23	
経常収支比率（%）	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.3
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	70.4
修正医業収支金額（千円）	569,470

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	707,855			
1 経常収益	707,855			
(1) 医業収益	591,136			
入院収益	389,763			
外来収益	158,774			
診療収入計	548,537			
その他医業収益	42,599			
(うち他会計負担金)	21,666			
(2) 医業外収益	116,719			
(うち国・都道府県補助金)	4,434			
(うち他会計補助・負担金)	104,544			
(うち長期前受金戻入)	5,501			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	810,296			
2 経常費用	810,296			
(1) 医業費用	809,216			
職員給与費	549,998	93.0	56.1	68.5
材料費	84,323	14.3	23.9	17.7
(うち薬品費)	42,675	7.2	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,171	4.6	10.9	5.7
減価償却費	28,743	4.9	9.3	12.1
経費	144,939	24.5	23.1	32.0
(うち委託料)	45,609	7.7	11.1	12.2
研究研修費	1,047			
資産減耗費	166			
(2) 医業外費用	1,080			
(うち支払利息)	274	-	1.8	2.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-102,441			
純損益	-102,441			
累積欠損金	302,419			
経常収支比率	87.4		97.9	98.1
医業収支比率	73.1		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	17.8		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	71.8		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	404,954
1 固定資産	278,361
(1) 有形固定資産	277,778
(2) 無形固定資産	583
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	126,593
(1) 現金及び預金	36,885
(2) 未収金及び未収収益	84,206
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	5,502
3 繰延資産	-
負債合計	406,791
1 固定負債	46,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,561
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	20,473
2 流動負債	271,518
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,353
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,506
(6) リース債務	6,088
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	30,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	89,239
(1) 長期前受金	236,157
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	146,918
資本合計	-1,837
1 資本金	-
2 剰余金	-1,837
(1) 資本金剰余金	300,582
(2) 利益剰余金	-302,419
負債・資本合計	404,954
不良債務	138,572
実質資金不足額	138,572
資金不足額（ ）	1,837
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	152,444	126,210
資本勘定繰入	2,813	2,813
計	155,257	129,023

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	138,572	23.4
27年度	48,295	6.8
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	51.2
健全化法上の資金不足額（千円）	103,978
健全化法上の資金不足比率（%）	17.5
地財法上の資金不足額（千円）	103,978
地財法上の資金不足比率（%）	17.5

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	川崎町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		16,789
決算規模(千円)		9,629,153
標準財政規模(千円)		4,813,910
財政力指数		0.30
経常収支比率(%)		95.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	67.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,875			
1 経常収益	27,875			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	27,875			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,875			
2 経常費用	27,875			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	60.1
材料費	-	-	23.9	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	8.1
減価償却費	-	-	9.3	10.1
経費	-	-	23.1	30.4
(うち委託料)	-	-	11.1	12.5
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	27,875			
(うち支払利息)	27,875	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	96.4
医業収支比率	-		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	81.4

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
	病院名	公立八女総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,147 m ²	指定病院の状況	救臨が地輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	300	79.6	75.4	83.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	79.6	75.4	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.1	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.7
修正医業収支金額(千円)	7,770,671

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,574,879			
1 経常収益	8,574,879			
(1) 医業収益	7,834,117			
入院収益	4,383,921			
外来収益	3,288,456			
診療収入計	7,672,377			
その他医業収益	161,740			
(うち他会計負担金)	63,446			
(2) 医業外収益	740,762			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	165,340			
(うち長期前受金戻入)	9,041			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,257,187			
2 経常費用	9,257,187			
(1) 医業費用	8,380,954			
職員給与費	3,947,759	50.4	56.1	56.5
材料費	2,469,755	31.5	23.9	24.1
(うち薬品費)	1,691,439	21.6	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	718,575	9.2	10.9	11.4
減価償却費	526,896	6.7	9.3	9.1
経費	1,353,775	17.3	23.1	21.6
(うち委託料)	770,744	9.8	11.1	10.6
研究研修費	25,549			
資産減耗費	57,220			
(2) 医業外費用	876,233			
(うち支払利息)	117,311	1.5	1.8	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-682,308			
純損益	-682,308			
累積欠損金	426,733			
経常収支比率	92.6		97.9	96.7
医業収支比率	93.5		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	2.7		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	2.9		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	2.7		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	90.2		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,662,006
1 固定資産	9,060,880
(1) 有形固定資産	9,054,443
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,437
2 流動資産	6,601,126
(1) 現金及び預金	4,693,234
(2) 未収金及び未収収益	1,354,423
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	202,542
3 繰延資産	-
負債合計	7,702,586
1 固定負債	5,384,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,266,163
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,111,773
(7) リース債務	6,585
2 流動負債	2,018,233
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	563,847
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,926
(6) リース債務	3,839
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,217,322
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	299,832
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	208,723
資本合計	7,959,420
1 資本金	7,891,048
2 剰余金	69,347
(1) 資本金剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-305,540
負債・資本合計	15,662,006
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,906	228,786
資本勘定繰入	314,216	342,361
計	658,122	571,147

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
	病院名	みどりの杜病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,418 m ²	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	30	84.4	61.2	37.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	84.4	61.2	37.1
平均在院日数(一般病床のみ)		41.4	42.5	55.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	107.4
修正医業収支金額(千円)	444,268

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	451,112			
1 経常収益	451,112			
(1) 医業収益	444,268			
入院収益	405,255			
外来収益	28,068			
診療収入計	433,323			
その他医業収益	10,945			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,844			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	778			
(うち長期前受金戻入)	3,132			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	419,919			
2 経常費用	419,919			
(1) 医業費用	413,748			
職員給与費	293,244	66.0	56.1	77.1
材料費	27,176	6.1	23.9	16.7
(うち薬品費)	11,201	2.5	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,673	1.7	10.9	5.1
減価償却費	26,932	6.1	9.3	12.8
経費	65,694	14.8	23.1	40.7
(うち委託料)	26,047	5.9	11.1	16.6
研究研修費	702			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,171			
(うち支払利息)	-	-	1.8	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	31,193			
純損益	31,193			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.4		97.9	96.9
医業収支比率	107.4		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	0.2		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	0.2		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	0.2		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	107.2		85.8	65.5

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,662,006
1 固定資産	9,060,880
(1) 有形固定資産	9,054,443
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,437
2 流動資産	6,601,126
(1) 現金及び預金	4,693,234
(2) 未収金及び未収収益	1,354,423
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	202,542
3 繰延資産	-
負債合計	7,702,586
1 固定負債	5,384,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,266,163
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,111,773
(7) リース債務	6,585
2 流動負債	2,018,233
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	563,847
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,926
(6) リース債務	3,839
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,217,322
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	299,832
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	208,723
資本合計	7,959,420
1 資本金	7,891,048
2 剰余金	69,347
(1) 資本金剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-305,540
負債・資本合計	15,662,006
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,091	778
資本勘定繰入	-	-
計	5,091	778

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。